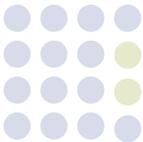


株主の皆さまへ

第138期中間事業報告書

自 平成17年4月1日
至 平成17年9月30日


エンシュウ株式会社



代表取締役社長

寺田一彦

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別なご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当上半期のがわが国経済は、企業収益の改善と輸出や設備投資の増加により景気の回復基調が継続いたしました。また、雇用情勢や所得環境にも改善が見られ、個人消費も一部持ち直しの兆しが見えてまいりましたが、一方では、原油・原材料等の価格上昇から先行き懸念が残る状況で推移いたしました。

このような情勢の中で、当社は顧客ニーズに応える新製品開発や生産コスト削減を推進するとともに、国内外に積極的な販売活動を展開してまいりました。

その結果、売上高は工作機械事業部門及び機器事業部門とも増加し、また、利益につきましても売上の増加及び工作機械事業部門の大幅な採算改善により増加し増収増益となりました。

当社は一昨年4月よりスタートさせました3ヵ年経営計画の中で、“モノづくり”の原点に戻り徹底した改革を図ることをテーマに掲げ、全社一体となって取り組んでまいりました。今年度が最終年度となりま

すが、活動の成果が見え始め、体質改善も着実に進みつつあります。

来年4月より新たな3ヵ年経営計画がスタートいたしますが、繰越損失の解消にも一応の目処がついた現在、新経営計画は新しい発想が必要であり、計画作成の段階から新しい体制で策定することが望ましいと考えます。

このため、明年1月1日より社長を交代することいたしました。

在任中の格別のご協力に心より深く感謝申し上げます。

なお、後任社長には専務取締役 中安茂夫が就任いたしますので、今後とも株主皆様の一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

また、第138期の中間配当につきましては、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、その実施を見送らせていただくことといたしました。

平成17年12月

平成17年4月1日から平成17年9月30日に至る当社第138期上半期の営業の概況をご報告申し上げます。

工作機械事業部門

当上半期の工作機械業界の受注は、自動車業界向け及び一般機械業界の需要が好調で引き続き高水準で推移し、内需、外需とも前年に比べ増加しました。

そのような中で、当社の主力であるシステム機械を柱に積極的な営業活動を展開し、国内においては自動車関連業界を中心として、また、海外においては販売子会社を核として拡販に努めてまいりました。

その結果、売上高は受注の増加及び生産性向上により前年を大幅に上回ることができました。利益につきましても、一部原材料の価格上昇の影響もありましたが、売上の増加、生産性向上、技術及び製造が一体となったコンカレントエンジニアリングによるコストダウン活動などにより、採算が顕著に改善し、大幅な増収増益となりました。

また、受注につきましても主要顧客の自動車業界の設備投資が好調で前年を上回ることができ、引き続き高水準で推移いたしました。

今後につきましては、営業部門ではシステム機械を



横形マシニングセンタJE60S



横形マシニングセンタJE80S

技術及び製造部門につきましては、売上増に対応するため、コンカレントエンジニアリングを核にプロジェクトの充実とレベルアップに努め、両部門一体となったモノづくりの強化（品質向上、納期遵守、コスト削減）をより一層強めてまいります。さらに、技術部門においては、システム機械トータルのコストダウンを図るため、マシニングセンタのみならず周辺装置の開発と標準化を押し進めてまいります。



FMS シリンダーヘッド加工ライン



FMS シリンダーブロック加工ライン

技術及び製造部門につきましては、売上増に対応するため、コンカレントエンジニアリングを核にプロジェクトの充実とレベルアップに努め、両部門一体となったモノづくりの強化

光関連事業部門

光関連事業部では、光技術をコアとして浜松ホトニクス株式会社との連携、協業を推進してまいりました。特に高出力半導体レーザー溶接機につきましては、用途開発、周辺装置開発に注力してまいりました。現在までにハイブリッド溶接技術、ロボットによるテーラードブランク溶接技術、ロウ付け技術等を商品化し自動車部品の量産ラインにも一部採用されることができました。

今後は、光加工技術及び周辺装置の開発による営業支援の強化と販売パートナーの開拓などにより、一層の拡販に努めてまいります。

また、当上半期より地域新生コンソーシアム研究開発事業に採択されたフェムト秒レーザー加工機の開発研究にも産学協同で取り組みを始めております。



高出力半導体レーザー溶接システムL1

機器事業部門

当上半期におきましては、バギー車用エンジン部品及び二輪車用エンジンなどの生産増加により、売上高は前年に比べ増加いたしました。

利益につきましても、売上増加とTPM活動をベースとした工場改善による原価低減の結果、前年に比べ増加し、増収増益となりました。



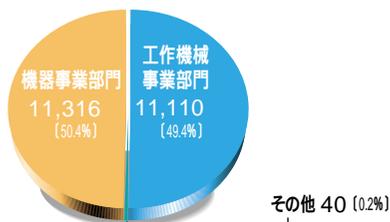
TPM 優秀賞(第1類受賞)

また、当上半期より新製品の取入れの一環として自動車部品の生産を増強いたしました。生産を軌道に乗せさらなる拡大に向けた取り組みを展開してまいります。

今後につきましては、海外自製化による仕事量の減少や競合のグローバル化によるコスト競争の激化が予想され、環境は厳しさを増してくるものと思われ。営業力強化による新製品の取入れを拡大すると共に、TPM活動を基軸に一層の工場改善を推進し、原価低減の向上に努めてまいります。

SALES VOLUME

部門別売上高(百万円)



BALANCE SHEET

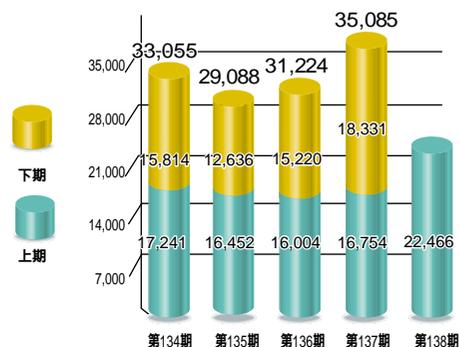
中間貸借対照表の要約(百万円)

平成17年9月30日現在

資 産 の 部		金 額
科 目		
流動資産		23,072
現金及び預金		1,595
受取手形		816
売掛金		9,824
たな卸資産		8,718
その他の貸倒引当金		2,125
貸倒引当金		9
固定資産		15,687
有形固定資産		14,159
建物及び構築物		1,936
機械装置		5,095
土地		5,919
その他		1,207
無形固定資産		28
投資その他の資産		1,499
投資有価証券		128
子会社株式		301
その他の貸倒引当金		1,163
貸倒引当金		93
資産合計		38,760

- 注)1. 有形固定資産の減価償却累計額 23,226 百万円
 2. 受取手形割引高 300 百万円
 3. 保証債務 149 百万円

売上高の推移(百万円)



第134期 第135期 第136期 第137期 第138期

負債の部

科 目	金 額
流動負債	19,497
支払手形	2,513
買掛金	6,118
短期借入金	7,858
未払金、未払法人税等	1,824
その他	1,182
固定負債	11,081
長期借入金	6,215
再評価に係る繰延税金負債	2,141
退職給付引当金	2,387
その他	337
負債合計	30,578

資本の部

資本金	3,140
資本剰余金	1,553
利益剰余金	236
中間未処分利益	236
土地再評価差額金	3,252
株式等評価差額金	17
自己株式	19
資本合計	8,181
負債及び資本合計	38,760

溶接・レーザ総合展「HUBTEC 2005」が、6月30日～7月2日までポートメッセ名古屋で開催され、100社が出展しました。

当社からは、高出力半導体レーザー溶接システムL1と、高出力半導体レーザー樹脂溶着システムLPJの2機種・2台を出品し、来場者の注目を集めました。



高出力半導体レーザー
樹脂溶着システム LPJ



PROFIT AND LOSS STATEMENT

中間損益計算書の要約(百万円)

自平成17年4月 1日
至平成17年9月30日

科 目	金 額
売 上 高	22,466
売 上 原 価	20,364
販売費及び一般管理費	1,058
営 業 利 益	1,043
営 業 外 収 益	82
営 業 外 費 用	196
経 常 利 益	929
特 別 利 益	2
特 別 損 失	59
税 引 前 中 間 純 利 益	872
法人税、住民税及び事業税	422
法 人 税 等 調 整 額	54
中 間 純 利 益	505
中 間 未 処 分 利 益	236



CONSOLIDATED BALANCE SHEET

中間連結貸借対照表の要約〔百万円〕

平成 17 年 9 月 30 日現在

資 産 の 部	
科 目	金 額
流 動 資 産	24,695
現金及び預金	1,832
受取手形及び売掛金	10,051
有 価 証 券	71
た な 卸 資 産	10,698
そ の 他	2,072
貸 倒 引 当 金	30
固 定 資 産	15,267
有形固定資産	14,095
建物及び構築物	1,936
機械装置及び運搬具	5,031
土 地	5,919
そ の 他	1,207
無形固定資産	28
投資その他の資産	1,144
投資有価証券	143
そ の 他	1,094
貸 倒 引 当 金	93
資 産 合 計	39,963

- 注)1. 有形固定資産の減価償却累計額 23,242 百万円
 2. 受取手形割引高 300 百万円
 3. 保証債務 149 百万円

負 債 の 部	
科 目	金 額
流 動 負 債	20,916
支払手形及び買掛金	9,783
短 期 借 入 金	7,858
未払金、未払法人税等	1,839
そ の 他	1,436
固 定 負 債	11,083
長 期 借 入 金	6,215
再評価に係る繰延税金負債	2,141
退職給付引当金	2,387
そ の 他	339
負 債 合 計	32,000
少数株主持分	5
資 本 の 部	
資 本 金	3,140
資 本 剰 余 金	1,553
利 益 剰 余 金	38
土 地 再 評 価 差 額 金	3,252
株 式 等 評 価 差 額 金	17
為 替 換 算 調 整 勘 定	26
自 己 株 式	19
資 本 合 計	7,957
負債、少数株主持分及び資本合計	39,963



CONSOLIDATED PROFIT AND LOSS STATEMENT

中間連結損益計算書の要約(百万円)

自平成17年4月 1日
至平成17年9月30日

科 目	金 額
売上高	22,496
売上原価	20,140
販売費及び一般管理費	1,241
営業利益	1,114
営業外収益	81
営業外費用	222
経常利益	973
特別利益	2
特別損失	59
税金等調整前中間純利益	916
法人税、住民税及び事業税	430
法人税等調整額	77
少数株主利益	0
中間純利益	561

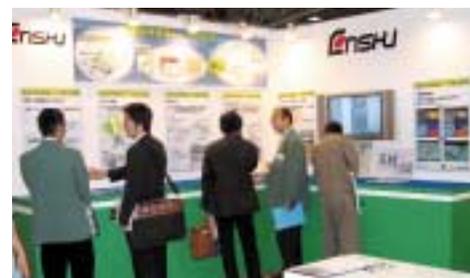
TOPICS



メカトロテックジャパン2005 《MECT 2005》

F A技術専門展「メカトロテックジャパン2005」が、10月19日から22日までポートメッセ名古屋で開催されました。

国内外から429社及び団体が出品し、当社からは高出力半導体レーザー溶接システムL1と、高出力半導体レーザー樹脂溶着システムLPJの2機種・2台を出品し、多数の来場者から好評をいただきました。



COMPANY PROFILE



会社の概要

商号 エンシュウ株式会社(英文 ENSHU Limited)
設立 大正9年2月5日
資本金 31億4,085万円
 会社が発行する株式の総数 150,000,000株
発行済株式総数 53,312,147株
生産品目 工作機械、発動機および関連機器



BUSINESS ESTABLISHMENT



事業所



本社及び工場 〒432-8522 静岡県浜松市高塚町4888 電話 053-447-2111(代)

浜北工場 〒434-0016 静岡県浜松市根堅788 電話 053-588-0211(代)

営業部・支店

営業部 〒434-0016 静岡県浜松市根堅788 電話 053-588-4771(代)

東京支店 〒140-0011 東京都品川区東大井4-13-15(スターハイツ)
電話 03-5479-1671(代)

大阪支店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-43(ファサード江坂ビル)
電話 06-6338-2471(代)

サービスステーション / 高崎・金沢・広島

海外現地法人 ENSHU(USA) CORPORATION (シカゴ)
 ENSHU GmbH (フランクフルト郊外)
 ENSHU (Thailand) Limited (バンコク)

BOARD of DIRECTORS



役員 平成 17 年 9 月 30 日現在

代表取締役社長	寺田一彦
専務取締役	中安茂夫
常務取締役	加茂只文
常務取締役	千賀伸一
取締役	安田俊二
取締役	横山晴臣
取締役	中村泰之
取締役	小木国典
取締役	野田純孝
常勤監査役	松山美廣
監査役	石塚尚
監査役	鈴木芳男

■取締役野田純孝氏は、商法第 188 条第 2 項第 7 号ノ 2 に定める社外取締役であります。

■監査役石塚 尚氏、鈴木芳男氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第 18 条第 1 項に定める社外監査役であります。

■監査役土屋 裕氏は、平成 17 年 7 月 3 日逝去されました。

M E M O



株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月 なお、定時株主総会において権利を行使することができる株主は、毎年3月31日最終の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された議決権を有する株主となります。
基準日	毎年3月31日、その他必要ある場合は、あらかじめ公告致します。
名義書換代理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
〔お問合わせ先〕	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(0120)288-324(代表)
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
1単元の株式の数	1,000株
公 告	電子公告 但し、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載して行う。
決算公告のホームページのご案内	ホームページにて当会社の財務内容をご覧いただけます。《 http://www.enshu.co.jp/kessan/ 》
株式の上場	東京、名古屋 両証券取引所市場第一部



エンシュウ株式会社

インターネット上にホームページを開設しております。
エンシュウ株式会社 <http://www.enshu.co.jp/>
ENSHU(USA)CORPORATION www.enshuusa.com